

県立高校改革実施計画（期）

横浜清陵高校  
単位制普通科  
設置計画

平成28年10月

神奈川県教育委員会

## 1 対象校・位置・実施年度

- ( 1 ) 対象校 横浜清陵総合高等学校
- ( 2 ) 位置 横浜清陵総合高等学校敷地（横浜市南区清水ヶ丘4-1）
- ( 3 ) 実施年度 平成29年度

## 2 設置の目的

総合学科の共通教科と専門教科の学習を総合的に施す教育課程から、単位制の利点をいかしつつ、共通教科・科目を中心とした教育課程にすることにより、生徒の学習ニーズ及び進路希望の状況、生徒の状況に対応した一層きめの細かい指導を展開することができることから単位制の運用による普通科に学科を改編し設置する。

## 3 基本的コンセプト

単位制による全日制普通科の県立高校として教育を展開する。

共通性の確保とより一層の発展的な学力の向上を図る教育展開

単位制による普通科として、共通教科の科目を中心とした構成を基本とした教育課程編成と年次ごとに共通に学ぶ科目を定めることを基本とした教育課程による年次進行型での運用により、共通性の確保とより一層の発展的な学力の向上を図る教育を展開する。

柔軟な教育課程編成とガイダンス機能の充実

単位制の利点をいかすことにより、生徒の単位修得をきめ細かく行えるように工夫するとともに、進路希望の実現に向けた柔軟な教育課程編成とガイダンス機能の充実など指導・支援体制を整える。

在県外国人等の生徒への支援

在県外国人等特別募集を実施することに伴う、外国につながりのある生徒への対応など、生徒の多様化に対応した支援体制を整える。

## キャリア教育の充実

生徒に身に付けさせたい力として、将来を主体的に切り拓くため、一人ひとりの社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力や態度を育む、キャリア教育の充実を図る。

## 4 設置形態

- (1) 課程 単位制による全日制の課程
- (2) 学科 普通科
- (3) 学校規模 全日制の課程  
普通科 840～1,080名(21～27学級規模程度)  
(各年次280～360名 7～9学級規模程度)  
学級規模は予定であり、入学定員の発表時に確定
- (4) 修業年限 3年 在学年限は原則として6年
- (5) 学期 2学期制
- (6) 履修形態 共通教科の科目を中心とした必履修科目及び選択科目による履修
- (7) 授業展開 50分の6限4日、7限1日を基本とし必要に応じて弾力的な授業時間を設定

<日課表> (予定)

	(月)	(火)～(金)
ショートホームルーム	8:40～8:45	8:40～8:45
1 校 時	8:50～9:40	8:50～9:40
2 校 時	9:50～10:40	9:50～10:40
3 校 時	10:50～11:40	10:50～11:40
4 校 時	11:50～12:40	11:50～12:40
昼 休 み	12:40～13:25	12:40～13:25
5 校 時	13:25～14:15	13:25～14:15
6 校 時	14:25～15:15	14:25～15:15
7 校 時	15:25～16:15	
ショートホームルーム	16:15～16:20	15:15～15:20

## 5 入学者選抜

- (1) 募集の区分 一般募集(中学校卒業見込み者及び中学校既卒業者)  
特別募集(在県外国人等)

( 2 ) 選抜の区分 共通選抜

( 3 ) 選考の方法 事前に公表した「公立高等学校入学者選抜選考基準」に基づいて、選考する。

## 6 教育課程

### ( 1 ) 基本の方針

高等学校在籍 3 年以上で、必履修科目を履修し、高等学校学習指導要領に基づき、学校において定めた単位を修得することで卒業とする。

生徒に高度な普通教育を施し、一般的な教養を高めるとともに、進路希望の実現に向けた科目構成とする。共通教科の科目を中心に編成し、学校設定教科・科目については、精選を図る。

### ( 2 ) 教育展開の方針

基礎的な科目から応用・発展的な科目を設置し、系統的な学習の展開を図る。

生徒一人ひとりの進路希望などに応じて、科目を選択して学ぶことが可能となるよう配慮する。

地域の特性を活用した県立高校生学習活動コンソーシアムによる教育を展開する。

### ( 3 ) 編成の方針

単位制の利点をいかしつつ、年次ごとに共通に学ぶ科目を定めることを基本とした教育課程による「年次進行型」での運用に取り組む。

年次進行型については、必履修科目を中心に一定の科目を年次進行にしたがって履修する。

単位制の利点をいかした生徒の卒業や単位認定に関する弾力的な運用を行う。

科目選択については、学校目標などに基づき、生徒の選択状況等を十分に勘案し、進路希望の実現に向けたきめ細かい履修指導を行う。

生徒の進路実現に向けて、3 年間履修する共通教科として国語・外国語（英語）を設置する。

(4) 教育課程表 (予定)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
1 年次	国語総合			世界史 A	現代 社会	数学		数学A / [日本語]	物理 基礎	化学 基礎	体育	保健	コミュニケーション 英語	英語 表現	情報の 科学	芸術	総合的な 学習の 時間	L H R													
2 年次	文系	現代文 B	日本史 A	数学		生物 基礎	体育	保健	コミュニケーション 英語	コミュニケーション 英語	コミュニケーション 英文法	家庭 基礎	必修選択科目 世界史B /日本史B /地理B	必修選択 科目 古典A /数学B /芸術 /[日本語]	総合的な 学習の 時間	L H R															
	理系												必修選択科目 物理/化学																		
3 年次	文系	現代文 B	体育	コミュニケーション 英語		必修選択科目 (4単位選択) 発展世界史 /発展日本史 /発展地理 /倫理 政治・経済 時事問題 から 2科目選択	必修 選択 科目 現代文 解析 /芸術	必修 選択 科目 (4単位選択) 古典B /英語表現 /実践数学 実践国語	必修 選択 科目 自由 選択 科目 から 1科目 選択	自由選択科目 ~							総合的な 学習の 時間	L H R													
	理系					必修選択科目 物理/化学/生物	必修 選択 科目 物理 探求 /化学 探求 /生物 探求	必修 選択 科目 数学 /数学 「数学」選択者は 自由選択科目から 2単位選択																							

[ ]の科目に関しては、在県募集の生徒対象

自由選択科目 (8 ~ 10 単位)

古典A、古典解析、国語表現、地理A、現代社会研究、数学A、数学B、  
 数学、数学、数学活用、物理研究、化学研究、理科課題研究、写真表現、  
 英語会話、上級リーディング、子どもの発達と保育、フードデザイン、  
 【日本語】

( 囲いの数字は単位数 )

教育課程表は予定であり、変更することがある。

(5) 学習指導の工夫

知識の質や量の改善とともに、学びの質や深まりを重視し、課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習や、そのための指導の方法等を充実させる取組みを図る。

自らの学習目的や進路希望に基づいて、主体的に学習を進めることができるよう、また、基本的な内容から発展的な内容を含め、生徒一人ひとりの個性と能力の伸長を図ることができるよう指導する。

#### ( 6 ) 生徒指導等の工夫

特別活動（ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事等）や部活動等の集団活動により、さまざまな個性を相互に尊重し、より良い人間関係の構築と自立をめざす指導を行う。

生徒の状況を的確に把握し、さまざまな課題を抱える生徒に対して、一人ひとりに応じた適切な配慮や支援を、学校全体で行う体制を整える。

生徒理解を深めることを基本に、生徒相互の良好な人間関係を育むとともに、生徒と教師との信頼関係を大切にした生徒指導に取り組む。

#### ( 7 ) 進路指導の工夫

生徒が自己のあり方、生き方を考え、主体的に進路を選択することができるよう、学校の教育活動全体を通じてキャリア教育を推進するとともに、生徒一人ひとりの進路目標の実現を図るため、計画的、組織的な進路指導を行う。

教育課程や学習指導と一体化したきめ細かい指導や進路希望に対応したガイダンスの機能の充実を図るなど支援体制を確立する。

#### ( 8 ) 学校経営

学校教育計画に基づき、学校評価や第三者評価の報告をいかすなどして、一層充実した自律的・組織的な学校経営に取り組む。

### 7 施設・設備の整備

単位制による全日制普通科の教育の展開に必要な施設・設備の整備を行う。

### 8 その他

単位制による全日制普通科としての教育の展開に必要な職員の配置を行う。

在県外国人等特別募集により入学してくる外国につながる生徒への対応に必要な職員や人材の配置を行う。





神奈川県

教育委員会教育局指導部高校教育課  
高校教育企画室高校教育企画グループ 電話(045)210-8254(直通)  
横浜市中区日本大通 33 〒231-8509 FAX(045)210-8922  
電話(045)210-1111(代表) 内線 8255・8256